

# 龍河洞の修学旅行・遠足などの受け入れ可能性調査

報告書 2021. 3. 2

## はじめに

今回の調査は、コロナ禍の令和2年に教育旅行で龍河洞を訪れた学校を対象とした。

分析は、1次的数据として龍河洞保存会の月別集計表を対象とした。

内容的には、県内、県外別月別集計表（令和2年、平成31年～令和元年）である。（別紙のとおり）

なお、今回の調査では、時間的な制約もあり調査計画として学校を対象とする面接調査、質問紙調査等は実施していない。

そのこともあり、2次的数据として、公益財団法人日本修学旅行協会が毎年発行している「教育旅行年報 2020年版」からデータを便宜的に引用している。これは今回の調査目的が龍河洞の受け入れ態勢整備とそれに伴う情報発信資料の作成にあることから、訴求先である学校側のニーズに整合したものであることも重要であると考えたからである。

### ※2次的数据の詳細

中学校では、国立、公立、私立の10,222校から3,012校を無作為抽出しアンケート調査を実施している。回答校数は963校、回答率32%であった。内訳は国立19校、公立756校、私立186校、全国の学校に対する回答率は9.3%となっている。

高校では、国立、公立、私立の4,887校から3,112校を無作為抽出しアンケート調査を実施している。回答校数は1,149校、回答率36.9%であった。内訳は国立4校、公立709校、私立436校、全国の学校に対する回答率は23.5%となっている。

### ※一次的数据分析の留意点

一次的数据の分析で、変数の再編をしている。

- ・「発地」は、県内と都道府県に区分していたが最終的には県内と県外にも区分している。
- ・「学校」では、中高や小中、小中高の学校連合を、小学校、中学校、高校、大学・専門学校、保育園幼稚園に区分した。

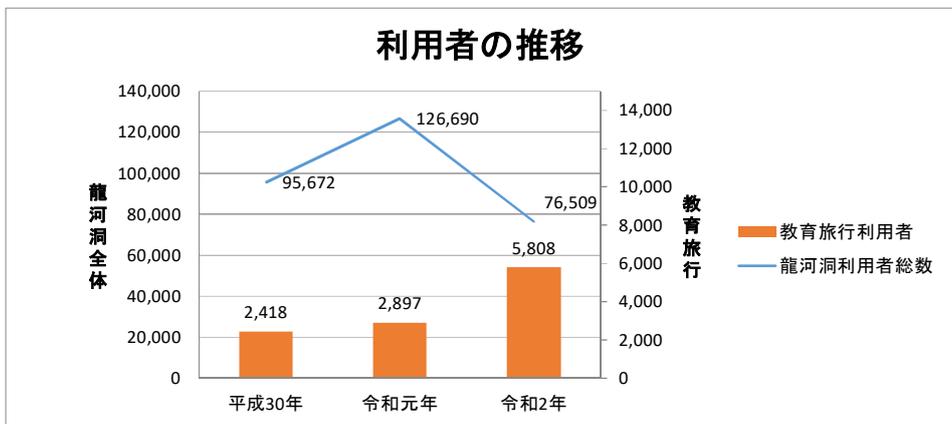
・「目的」では、分析者が資料をもとに判断し、  
修学旅行、遠足、下見、サマースクール、  
クラブ活動体験学習、研究・視察と

カテゴリー化している。

・「見学内容」では、通常見学、冒険コース、暗闇  
体験、冒険と通常見学などを行っている。

調査にあたって

〈図一1〉



〈図一1〉は過去3年間の入洞者の推移を表している。平成30年が95,672人、令和元年は見学通路の改修や照明のリニューアル等もあり126,690人、対前年1.32倍の増加となった。続く令和2年はコロナ禍の影響を受け観光産業は大きな痛手を被り、龍河洞も例外なく対前年60.3%の減で利用者数も76,509人と激減している。

一方、棒グラフは、教育旅行で訪れた学生の数である。令和元年は龍河洞利用者数と相関的になっているが、令和2年はコロナ禍の影響で大幅に

減少している。ところが教育旅行利用者は増えている。利用者数5,808人は対前年の2倍、これはコロナ感染を警戒・予防して過密の少ない地方に行先を変更した結果とみることもできる。

龍河洞にとっては、これまであまり訪れることもなかった学校との繋がりを一層深めていく千載一瞬のチャンスとみなし、さらなる関係強化に取り組む手掛かりをつかむこと、それがこれからの課題となる。

### 一次的データの分析 (令和2年)・・・p12～p13

令和2年に龍河洞を利用した学校別教育旅行の団体数は102件であった。〈図一2〉

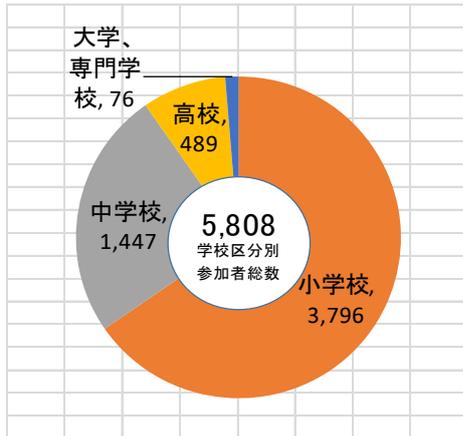
小学校が68校で66.7%、中学校が20校で19.6%、高校が11校で10.8%、大学・専門学校が3校で2.9%となっている。

〈図一2〉 学校区分別件数

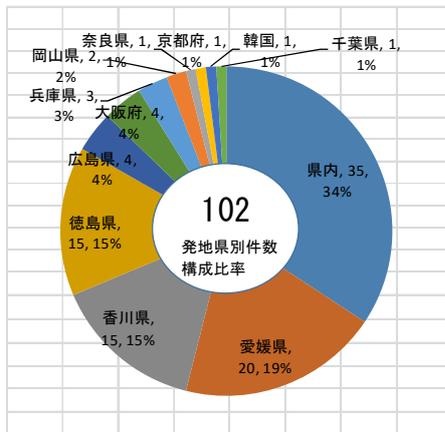


〈図-3〉は学校別利用者の総数である。令和2年の利用者総数は5,808人であった。内訳をみると、小学校が3,796人、中学校が1,447人、高校が489人、大学・専門学校が76人となっている。

〈図-3〉学校別利用者総数



〈図-4〉発地県別の学校数と構成比



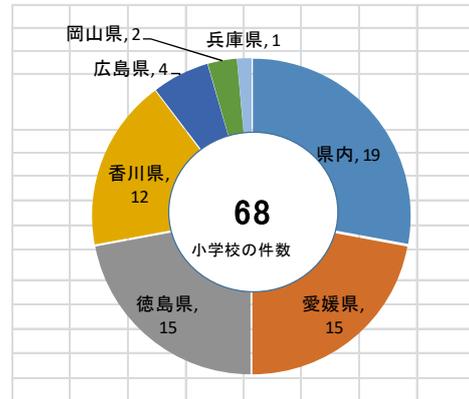
〈図-4〉

一番多かったのが県内からで全体の34%、35校で県外からは四国内が多く愛媛県の20校、35校で県外からは四国内が多く愛媛県の20校、香川県と徳島県が同数で15校15%となっている。

四国外からは、山陽筋の広島県が4校、岡山県が2校、近畿圏からは兵庫県が3校、大阪府が4校、奈良県、京都府が各1校となっている。遠方からは、関東から千葉県の大学が1校、また、海外からは韓国の柳韓高校の32名が1月に訪れている。

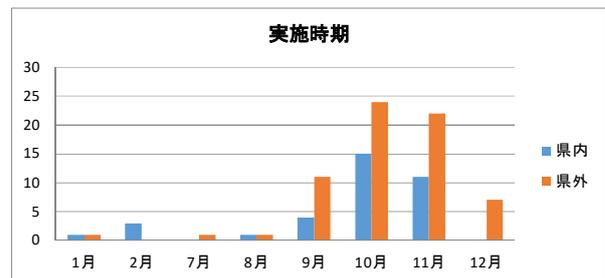
学校別の状況

〈図-5〉小学校の発地県別件数



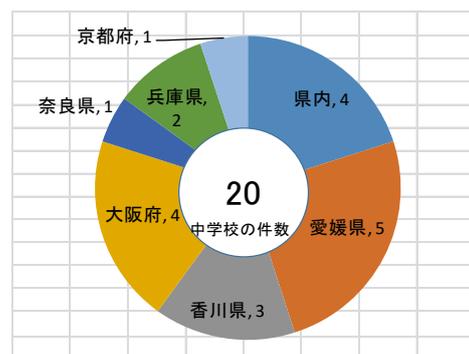
県外で一番多かったのは、お隣の愛媛県と徳島県が同数で15校、22.1%で、続いて香川県が12校、17.6%となっている。四国外では広島県が4校、5.9%、岡山県が2校、兵庫県が1校となっている。

〈図-6〉小学校の実施時期



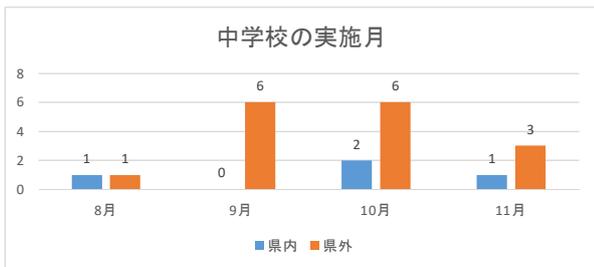
小学校の実施時期は〈図-6〉からも明らかのように秋に集中している。10月、11月である。これは県外・県内ともに利用者で顕著な結果となっている。

〈図-7〉中学校の発地県別件数



〈図一7〉は中学校の発地県である。総数は20校である。そのうち県内は4校で20%。四国内は徳島県を除く愛媛県が5校、香川県が3校で、この両県で全体の40%を占めている。あとは関西圏の兵庫県2校、京都府、奈良県が各1校となっている。

〈図一8〉中学校の実施月

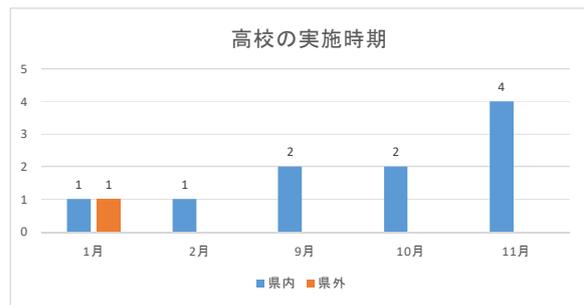


県外からは、9月、10月、11月となっている。コロナ禍の影響か〈図一21〉の全国調査の結果とは違っている。

高校の発地県別件数

県内が11校、県外で韓国が1校であった。

〈図一9〉高校の実施時期



1月が韓国の高校であとは全て県内の高校である。

大学・専門学校

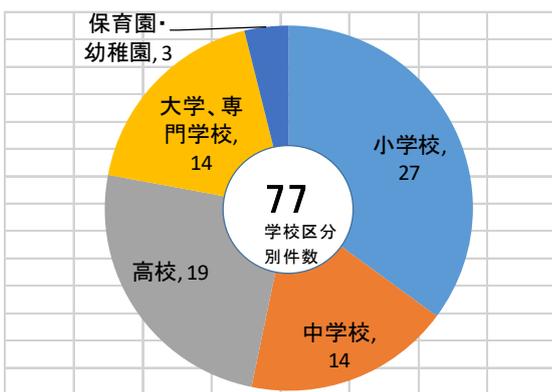
県内が2校、県外が1校であった。

実施時期は、県内の2校は11月、県外の1校は7月であった。

### 一次的データの分析 (平成31年～令和元年) …p14～p15

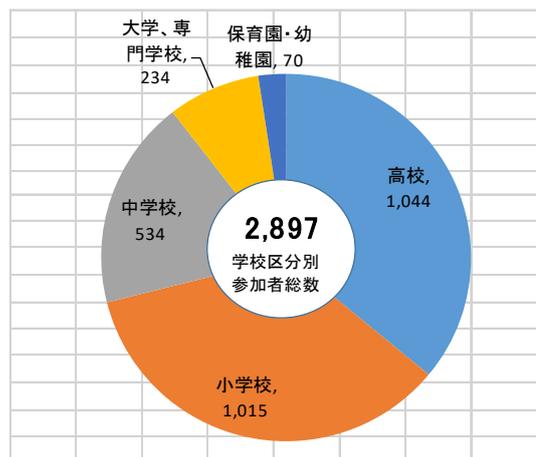
この年のデータは基本的にコロナの影響は受けていないと思われる。

〈図一10〉学校区分別件数



平成31年から令和元年に龍河洞を利用した学校別教育旅行の団体数は77件であった。小学校が27校で中学校が14校、高校が19校、大学・専門学校が3校となっている。

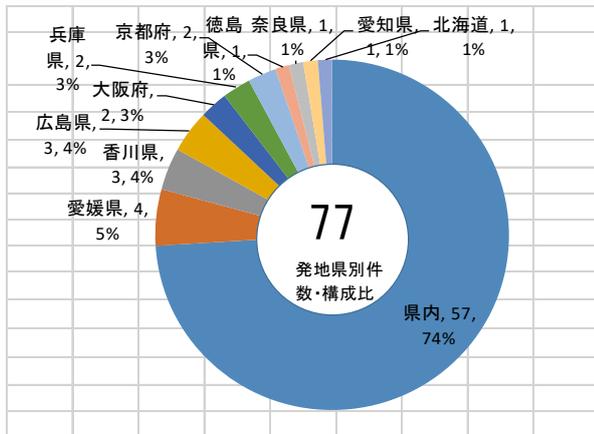
〈図一11〉学校別利用者総数



〈図一11〉は学校別利用者の総数である。平成31年から令和元年の利用者総数は2,897人であった。内訳をみると、小学校が1,015人、中学校が534人、高校が1,044人、大学・専門学校が234人、保育園・幼稚園が70人となっている。

この年の利用者数で一番多かったのは高校生となっている。

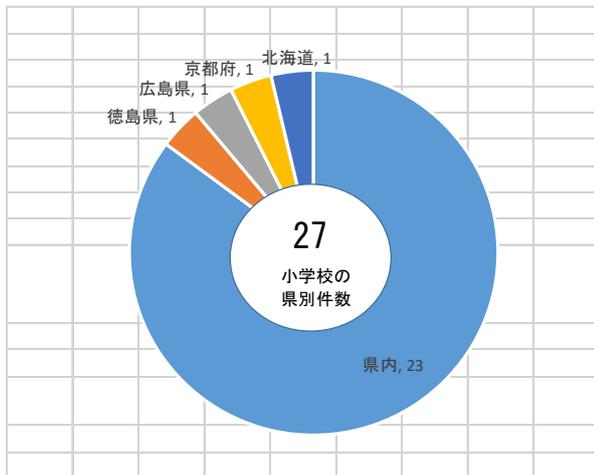
〈図-12〉 発地県別の学校数と構成比



全体の74%が県内からとなっている。県外ではお隣の愛媛県が4校で5%、香川県が3校で4%、広島県が3校で4%、あとは大阪府が2校で3%と続いている。

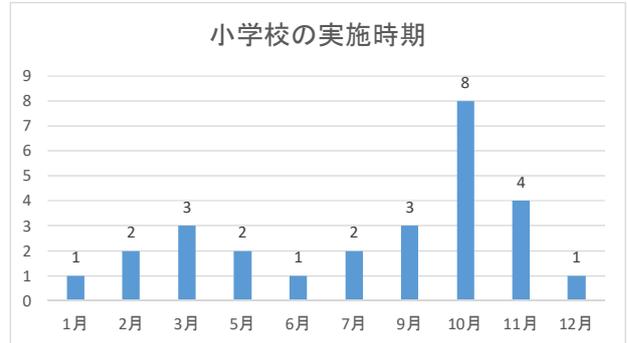
学校別の状況

〈図-13〉 小学校の発地県別件数



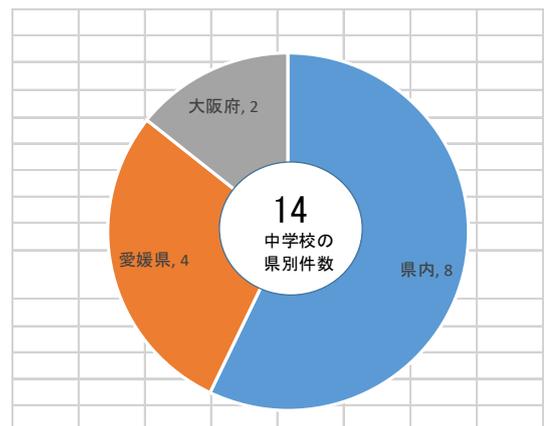
平成31年から令和元年の利用校は、県内が23校の85%、県外からは、徳島県、広島県、京都府、北海道が各1校で全体の15%となっている。

〈図-14〉 小学校の実施時期



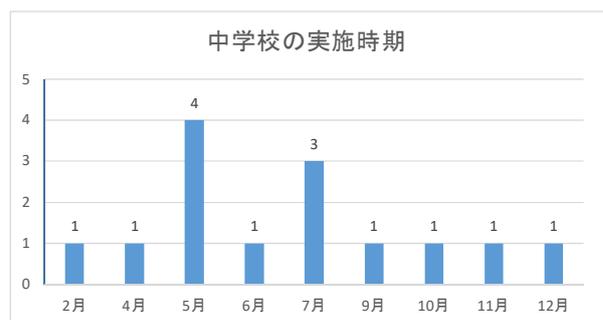
実施月に関しては、県内が殆どということで、その多くは遠足かと思われる。したがって実施月も一年を通じ定まってははいない。一番顕著であったのは10月である。

〈図-15〉 中学校の発地県別件数

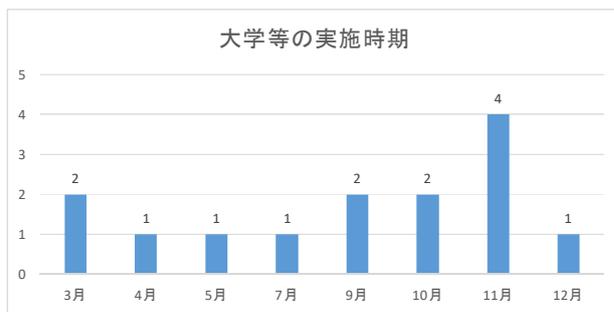


〈図-15〉は中学校の発地県別件数である。総数は14校で、県内が8校で57%、あとは愛媛県が4校で29%、大阪府が2校で14%となっている。

〈図-16〉 中学校の実施時期



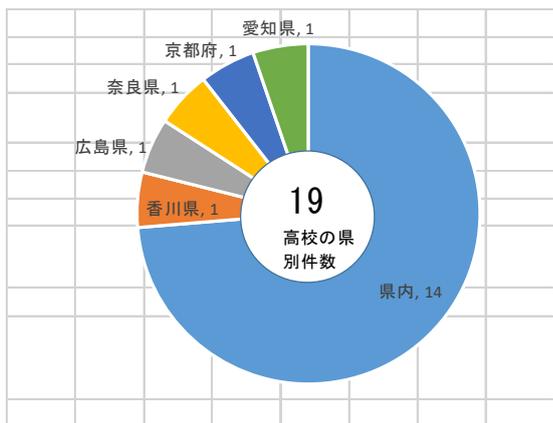
〈図-16〉はサンプル数が少ないので参考程度に見ていただきたい。実施時期の5月の多さは修学旅行全国データ〈図-21〉と重なって見ることもできる。因みに利用校を調べると大阪府2校、愛媛県1校となっている。



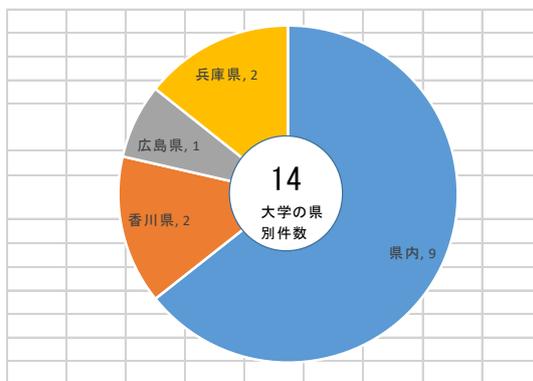
〈図-19〉

一番多い11月は県内の3大学で高知大学、県立大学、工科大学であるが全般的に実施時期について特徴的な傾向はみられなかった。因みに10月は関西学院大と神戸大学の2校となっている。

〈図-17〉 高校の発地県別件数

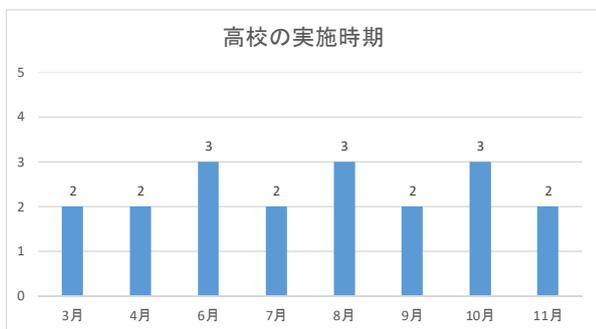


〈図-20〉 大学の発地県別数



〈図-17〉は高校の発地県別件数であるが、全体の19校の内、県内が14校で全体の74%である。あとは、26%で香川県、広島県、奈良県、京都府、愛知県が各1校となっている。

〈図-18〉 高校の実施時期



全体の74%が県内である。県外の学校は、8月が3校、9月が1校、10月が1校となっている。因みに全国データでは修学旅行は秋に集中している。〈図-22〉

## 2 次的データ その1

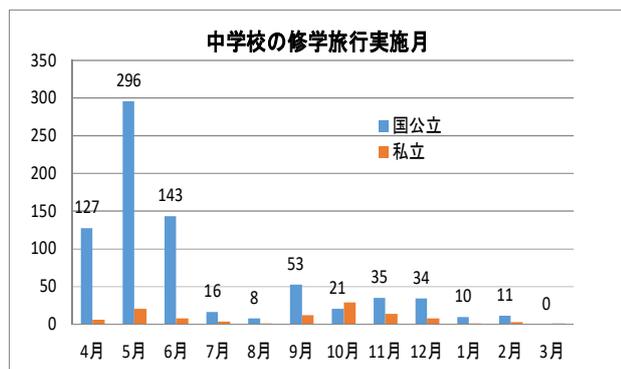
参考資料

公益財団法人日本修学旅行協会編

教育旅行年報 DATABOOK2020 から引用

中学校の修学旅行実施月全国データ

〈図-21〉

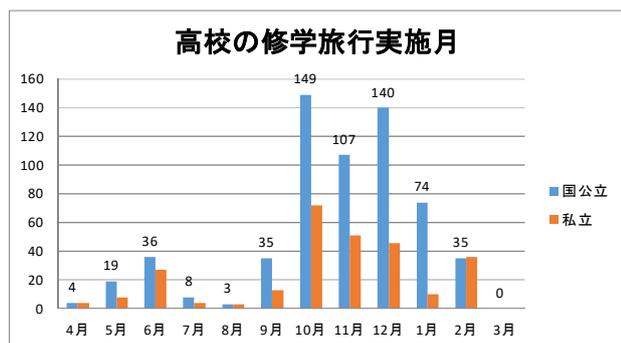


国公立では、実施月は4, 5, 6月で75%である。私立は、9月から11月の秋の実施が全体の50,9%となっている。

公立中学校で、3学期に実施している学校の多くは2年生で実施している。

高校の修学旅行実施月全国データ

〈図-22〉



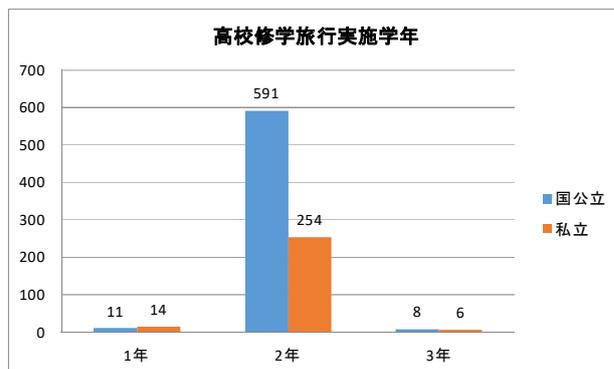
国内修学旅行の実施時期は、全体では2学期の10月～12月に63,9%の学校が実施している。国公立では10月～12月に64,9%実施している。

私立学校は10月が最も多いが11月12月と2月に実施している学校も多くあり、時期が分散し

ている。特筆すべきは新型コロナウイルス感染予防のため3月実施は無かった。

高校の修学旅行実施学年全国データ

〈図-23〉



国立高校、私立高校合わせて95,6%が修学旅行を2年生で実施している。進路、受験との関係で2年生での実施が適切な時期となっている。ごく一部1年生で実施している学校2,8%や、専門課程などでは3年生で実施している学校1,6%もある。

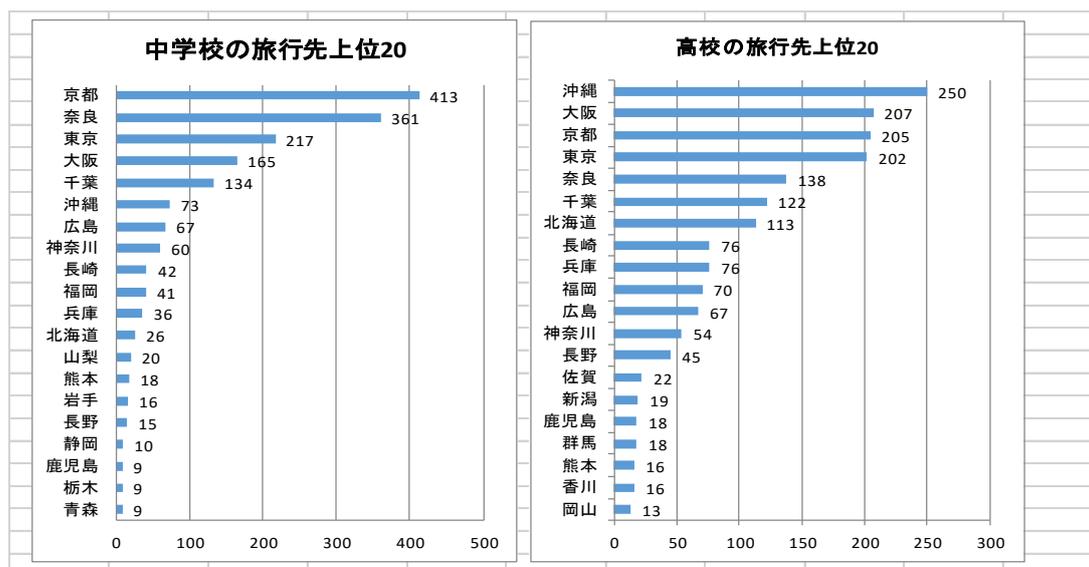
## 2 次的データ その2

〈表-1〉 中学校、旅行先で重点を置いた活動別分類と件数、その実施内容と実施率  
 公益財団法人日本修学旅行協会編 教育旅行年報 DATABOOK2020 から

旅行先で重点を置いた活動別分類と件数、その実施内容と実施率の一覧	
活動別分類 (件数)	活 動 内 容 (実施率)
歴史学習 (922)	・遺跡・史跡・文化財・寺社などの見学(62.9%)
	・伝統的町並みや建造物群保存地区の見学(27.5%)
	・博物館などの見学(10.2%)
	・伝統文化・伝統芸能や祭り体験(茶道・舞妓・着付け・三味線・ペーロン・エイサーなどを含む)(7.8%)
芸術鑑賞・体験 (232)	・ミュージカル・演劇などの鑑賞(12.2%)
	・歌舞伎・文楽・能楽等の鑑賞(5.2%)
	・美術館の見学(1.5%)
	・コンサート・音楽の鑑賞(0.2%)
平和学習 (192)	・平和学習(22.3%)
自然・環境学習 (154)	・水族館・動物園、自然・科学系博物館などの見学(9.7%)
	・自然や野外活動体験(無人島体験・洞窟体験を含む)(7.1%)
	・環境活動体験(1.0%)
ものづくり体験 (132)	・伝統工芸などもモノづくり体験(13%)
	・料理・食品加工体験(2.3%)
キャリア体験 (120)	・職場訪問・職場体験(13.3%)
	・販売・商業体験(0.6%)
宗教体験 (118)	・宗教体験(座禅・法話・写経など)(13.7%)
スポーツ体験 (86)	・マリンスポーツ(ダイビング・シュノーケリングを含む)(5.0%)
	・その他のスポーツ(ラフティング、カヌー、フィッシング、熱気球、トレッキング、乗馬など)(4.6%)
	・スキー・スノーボード・スケート体験(0.3%)
生業・くらし体験 (83)	・産業や産業遺産の見学(6.4%)
	・田舎暮らし体験(4.3%)
	・農業(2.9%)
	・漁業(釣り、地引網を含む)(2.0%)
	・酪農(0.5%)
・林業(0.0)	
防災学習 (43)	・防災学習・震災学習(5.2%)
学校見学 (32)	・学校見学(大学、専門学校等)(3.7%)
交流活動 (25)	・国際交流(外国人、留学生との交流)(2.9%)
奉仕・福祉体験 (2)	・介護福祉体験(0.2%)
その他 (81)	・クラス別活動、調査研究、自主研修、社会体験等(9.4%)

〈図-24〉 調査結果において、旅行先の第1位が京都、2位は奈良であることから、(表-1)の1位は歴史学習となる。活動内容は必然的に、史跡・街並み・産業遺産・博物館などの見学等、歴史学習に重点を置くものが多い。

〈図-24〉 中学校、高校の旅行先人気度上位 20



〈表-2〉

中学校の体験活動内容				
順位	体験活動内容	件数	構成比 (%)	平均費用 (円)
1	・ものづくり体験(絵付け、焼き物、伝統工芸)	240	31.1	2,017
2	・スポーツ体験(海・湖・川・山のアクティビティ)	126	16.3	5,064
3	・芸術・文化体験など	91	11.8	4,237
4	・料理体験・食品加工体験	87	11.3	1,647
5	・農山漁村体験(田舎体験、民泊、日帰りを含む)	73	9.5	5,666
6	・社寺などでの体験(座禅・法話・写経・出張を含む)	50	6.5	835
7	・キャリア体験(職場訪問・職業体験・職業講話)	37	4.8	2,960
8	・震災学習・防災学習	25	3.2	513
9	・環境学習・自然体験等(自然観察を含む)	16	2.1	4,771
10	・平和学習(体験講和を含む)	5	0.6	1,537
11	その他	22	3.2	1,801

中学校の体験活動の実施率は全体で 53.2%と 2016 年から 60%を切っているという。その理由は、体験活動に費やすことのできる費用が少なくなってきたということである。

体験活動の順位は前年と変わっていないという。「モノづくり体験」が 1 位、「スポーツ体験」が 2 位、「芸術・文化体験」が 3 位である。体験活動の効果については、全体として肯定的な意見が多く見られたという。

〈表—3〉

旅行先で重点を置いた活動分類と件数、その活動内容と実施率の一覧	
活動別分類 (件数)	活 動 内 容 (実施率)
歴史学習 (627)	・遺跡・史跡・文化財・寺社などの見学(43. 1%)
	・博物館などの見学(20. 1)
	・伝統的町並みや建造物群保存地区の見学(14. 3%)
	・伝統文化・伝統芸能や祭り体験(茶道・舞妓・着付け・三味線・ペーロン・エイサーなどを含む)(7. 8%)
平和学習 (344)	・平和学習(38. 9%)
スポーツ体験 (291)	・マリンスポーツ(ダイビング・シュノーケリングを含む)(12. 2%)
	・スキー・スノーボード・スケート体験(14. 4%)
	・その他のスポーツ(ラフティング、カヌー、フィッシング、熱気球、トレッキング、乗馬など)(6. 3%)
自然・環境学習 (249)	・自然や野外活動体験(無人島体験・洞窟体験を含む)(12. 2%)
	・環境学習体験(3. 6%)
芸術鑑賞・体験 (149)	・ミュージカル・演劇などの鑑賞(6. 1%)
	・歌舞伎・文楽・能楽等の鑑賞(1. 2%)
	・美術館の見学(1. 5%)
	・コンサート・音楽の鑑賞(0. 2%)
生業・暮らし体験 (125)	・産業や産業遺産の見学(5. 8%)
	・田舎暮らし体験(8. 9%)
	・農業(2. 9%)
	・漁業(釣りを含む)(0. 5%)
	・酪農(0. 3%)
キャリア体験 (118)	・職場訪問・職場体験(13. 7%)
	・販売・商業体験(0. 5%)
学校見学 (48)	・学校見学(大学、専門学校等)(5. 4%)
ものづくり体験 (45)	・伝統工芸などもモノづくり体験(2. 8%)
	・料理・食品加工体験(2%)
防災・震災学習・奉仕体験 (45)	・防災学習・震災学習(5. 1%)
	・ボランティア体験(0. 1%)
	・介護福祉体験(0. 0%)
宗教体験 (43)	・宗教体験(座禅・法話・写経など)(5. 1%)
交流体験 (19)	・国際交流(外国人、留学生との交流)(2. 0%)
その他 (87)	・クラス別活動、調査研究、自主研修、社会体験等(9. 8%)

〈表—3〉は、重点を置く活動内容を具体的に3つまで上げてもらったもので、1位が「遺跡・史跡・文化財・博物館・社寺などの見学」、2位が「平和学習」、3位が「スポーツ体験」となっている。

〈表—4〉

体験活動の内容				
順位	体験活動内容	件数	構成比 (%)	平均費用 (円)
1	・スポーツ体験(海・湖・川・山のアクティビティ)	576	62.5	6,692
2	・農山漁村体験(田舎体験、民泊、日帰りを含む)	183	19.9	70,702
3	・ウインタースポーツ体験(スキー・スノーボード等)	54	5.9	12,236
4	・ものづくり体験(絵付け、焼き物、伝統工芸)	24	2.6	2,667
5	・料理体験・食品加工体験	18	2	2,630
6	・芸術・文化体験など	15	1.6	3,715
7	・社寺などでの体験(座禅・法話・写経)	15	1.6	800
8	・環境学習・自然体験等(自然観察を含む)	9	1	5,311
9	・平和学習(体験講和を含む)	9	1	8,320
10	・震災学習・防災学習	9	1	9,014
11	・キャリア体験(職場訪問・職業体験・職業講話)	6	0.7	2,848
12	・その他	3	0.3	3,872
その他: 学校見学、進路学習、国際交流、ボランティア活動、福祉活動など				

体験活動は、今や3分の2の学校で実施している。修学旅行の内容が観光・見学中心から、生徒が自ら体験することによって学ぶ内容が変わってきている。平成30年に告示された高等学校の新学習指導要領では、「旅行・集団宿泊的行事」に位置付け、「平素と異なる生活環境にあつて、見分を広め、自然や文化などに親しむとともに、より良い人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること」としている。この新学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、何ができるようになるのか、何を学ぶかと共に、どのように学ぶかという「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められており、「深い学び」に繋がる体験活動の充実がこれまで以上に重視されている。修学旅行における体験活動の内容の質を高めていくことが求められ「深い学び」に繋がる体験プログラムの工夫が必要となる。

この実現について、各学校の一層の創意工夫が期待されている。

#### 体験活動における課題

- ・天候
- ・ケガや健康・安全対策
- ・体験内容（習熟度の配慮、活動内容のバラツキ、マンネリ化など）
- ・生徒・学校側の問題（教員の人的問題、体験のふさわしさ、十分な準備、主体的にできない場合）
- ・受け入れ態勢
- ・費用
- ・スケジュール管理と調整等

#### 事前・事後学習の重要性

修学旅行においては、その目的を達成し充実した成果をおさめるうえで、事前・事後の学習は不可欠となる。

##### 事前学習の内容

- ・情報の収集
- ・しおりの作成
- ・訪問先との連絡
- ・事前発表会
- ・外部講師による講演

##### 事後学習の内容

- ・まとめの作成
- ・学級での発表
- ・礼状の作成
- ・学年での発表
- ・授業公開等での発表
- ・その他

1 次的データ（令和 2 年）

〈表—5〉

令和2年に教育旅行で龍河洞を訪れた小学校の旅行目的など一覧									
発地区分	学校名	参加者総数	実施時期	学年	目的				学校数
					修学旅行	遠足	サマースクール	体験学習	
県内	安芸市立穴内小学校	14	2月	2年、3年		○			19
	安芸市立赤野小学校	12	10月			○			
	高知市立旭小学校	60	11月			○			
	高知市立江ノ口小学校	2	10月					○	
	高知市立三里小学校	40	10月			○			
	四万十市立西土佐小学校	18	11月			○			
	室戸市立室戸小学校	43	11月			○			
	宿毛市立宿毛小学校	54	11月	6年		○			
	須崎市立新庄小学校	27	10月	5年、6年		○			
	須崎市立須崎小学校	30	10月			○			
	大川村立大川小学校	19	10月			○			
	田野町立田野小学校	17	10月	2年		○			
	土佐市立高岡第一小学校	93	10月	5年		○			
	土佐市立新居小学校	34	9月	1年～5年		○			
	土佐市立波介小学校	36	10月			○			
	土佐清水市5校連合小学校	40	10月			○			
	土佐清水市立清水小学校	44	9月			○			
南国市立大篠小学校	114	10月			○				
南国市立大湊小学校	9	2月	6年				○		
小計	706					17		2	
愛媛県	今治市立菊間小学校	28	10月		○				15
	四国中央市立小富士小学校	23	11月		○				
	松山市立みどり小学校	116	11月		○				
	松山市立高浜小学校	51	11月		○				
	松山市立双葉小学校	121	9月		○				
	松山市立椿小学校	155	9月		○				
	松山市立日浦小学校	11	10月		○				
	松山市立福音小学校	100	10月		○				
	松山市立北条連合小学校	37	10月		○				
	松山市立味酒小学校	177	11月		○				
	松山市立味生小学校	147	10月		○				
	西予市立城川小学校	16	11月		○				
	西予市立明浜小学校	9	11月		○				
西予市立野村町小学校連合	50	10月		○					
大洲市立新谷小学校	47	10月		○					
小計	1,088				15				
香川県	宇多津町立宇多津小学校	81	11月		○				12
	宇多津町立宇多津北小学校	100	11月		○				
	琴平町立琴平小学校	23	12月		○				
	琴平町立象郷小学校	28	12月		○				
	高松市立塩江小学校	19	11月		○				
	高松市立香西小学校	100	11月		○				
	高松市立高松第一小学校	120	10月		○				
	高松市立川岡小学校	36	9月		○				
	三豊市立詫間小学校	79	10月		○				
	小豆島町立苗羽小学校	24	11月		○				
	多度津町立多度津小学校	56	9月		○				
多度津町立豊原小学校	92	9月		○					
小計	758				12				
徳島県	阿波市立御所小学校	31	10月		○				15
	阿波市立大俣小学校	22	10月		○				
	吉野川市立高越小学校	27	10月		○				
	徳島市立千松小学校	151	12月		○				
	徳島市立宮井小学校	30	10月		○				
	徳島市立佐古小学校	93	12月		○				
	徳島市立浜野小学校	57	12月		○				
	徳島市立千松小学校	5	10月				○		
	徳島市立大松小学校	67	12月		○				
	徳島市立南井上小学校	73	11月		○				
	徳島市立八方南小学校	108	11月		○				
	徳島市立方上小学校	40	11月		○				
	南あわじ市立辰美小学校	22	10月	6年	○				
	藍住町立藍住東小学校	78	11月		○				
藍住町立藍住南小学校	105	11月		○					
小計	909				14		1		
広島県	広島市立瀬野小学校	58	10月		○				4
	福山市立堂石小学校	17	10月		○				
	福山市立南小学校	57	11月		○				
	福山市立立川小学校	115	10月		○				
	小計	247				4			
岡山県	井原市立西江原小学校	45	12月		○				2
	学校法人岡山朝鮮学園	12	10月		○				
小計	57				2				
県別不明 (兵庫県?)	ふたみ連合小学校	31	11月		○				1
	小計	31				1			
合計		3,796				17	1	2	68

〈表—6〉

令和2年に教育旅行で龍河洞を訪れた中学校の旅行目的等一覧								
発地区分	学校名	参加者総数	実施時期	目的				学校数
				修学旅行	遠足	サマースクール	体験学習	
県内	高知市立一宮中学校	30	11月		○		○	4
	三原村立三原中学校	8	8月			○	○	
	山田特別養護支援学校 中学部	24	10月		○		○	
	四万十市立下田中学校	8	10月			○	○	
	小計	70			2	2	4	
愛媛県	今治市立玉川中学校	33	10月	○			○	5
	松山市立鴨川中学校	156	10月	○			○	
	松山市立東中学校	96	8月	○			○	
	上島町立弓削中学校	29	11月	○			○	
	西条市立東予西中学校	54	11月	○			○	
	小計	368		5			5	
香川県	丸亀市立綾歌中学校	118	10月	○			○	3
	小豆島町立小豆島中学校	105	9月	○			○	
	土庄町立豊島中学校	4	9月	○			○	
	小計	227		3			3	
大阪府	大阪市立大淀中学校	94	9月	○			○	4
	大阪市立佃中学校	47	9月	○			○	
	大阪市立野田中学校	116	11月	○			○	
	大東市立北条中学校	62	10月	○			○	
	小計	319		4			4	
兵庫県	神戸市立太田中学校	158	9月	○			○	2
	明石市立江井島中学校	131	10月	○			○	
	小計	289		2			2	
奈良県	奈良市立登美ヶ丘北中学校	121	9月	○			○	1
	小計	121		1			1	
京都府	京都市立音羽中学校	53	10月	○			○	1
	小計	53		1			1	
合計		1,447						20

〈表—7〉

令和2年に教育旅行で龍河洞を訪れた高校の旅行目的等一覧								
発地区分	学校名	参加者総数	実施時期	目的				学校数
				修学旅行	遠足	クラブ活動	体験学習	
県内	高知県立窪川高等学校	14	11月		○			10
	高知県立高岡高等学校	31	11月		○			
	高知県立高知西高等学校	36	11月		○			
	高知県立山田高等学校	2	1月			○		
	高知県立春野高等学校	26	10月		○			
	高知県立追手前高等学校	37	9月		○			
	高知中学校・高等学校	29	9月		○			
	土佐女子中学、高等学校	180	10月		○			
	明德義塾高等学校	86	11月		○			
	明德義塾中学、高等学校	16	2月				○	
小計	457			8	1	1		
韓国	柳韓工業高校	32	1月	○				1
	小計	32		1				
合計		489		1	8	1	1	11

〈表—8〉

令和2年に教育旅行で龍河洞を訪れた大学の旅行目的等一覧						
発地区分	学校名	参加者総数	実施時期	目的		学校数
				修学旅行	遠足	
県内	高知大学学内国際連携推進センター	21	11月		○	1
	高知大学農林海洋科学部	46	11月		○	1
	小計	67			2	2
千葉県	城西国際大学	9	7月	○		1
	小計	9		1		1
合計		76		1	2	3

1 次的データ（平成 31 年から令和元年）

〈表—9〉 小学校

平成31年～令和元年に教育旅行で龍河洞を訪れた小学校の旅行目的等一覧										
発地区分	学校名	参加者 総数	実施時 期	学年	目的					学校数
					修学 旅行	遠足	下見	体験 学習	交流行 事など	
県内	いの町立長沢小学校	19	10月					○		23
	香南市立赤岡小学校	23	3月			○				
	香美市小学校	186	9月	外国人		○				
	香美市片地小学校	15	6月			○				
	香美市立舟入小学校	35	11月					○		
	高知市立久重小学校	5	2月				○			
	高知市立十津小学校	2	9月	5年			○			
	高知市立十津小学校	58	9月				○			
	高知大学教育学部付属小学校	53	5月	外国人			○			
	高知大学教育学部付属小学校	101	11月	1年			○			
	四万十町立仁井田小学校	13	2月				○			
	須崎市立浦ノ内小学校	35	10月	3年、4年				○		
	須崎市立須崎小学校	35	10月				○			
	津野町立中央小学校	40	10月				○			
	津野町立葉山小学校	51	10月	3年、4年			○			
	東洋町立甲浦小学校	18	7月				○			
	東洋町立甲浦小学校	9	11月							
	奈半利町立加領郷小学校	6	12月				○			
	南国市立十市小学校	53	3月	6年			○			
	南国市立大湊小学校	13	3月	6年				○		
	南国市立長岡小学校	43	10月	5年				○		
	日高村立加茂小学校	41	10月	5年、6年			○			
	北川村立北川小学校	18	10月				○			
小計	872					17	1	5		
徳島県	三好市立白地幼小学校	39	5月			○			1	
小計	39					1				
広島県	広島市立野瀬小学校	60	10月		○				1	
小計	60				1					
京都府	京田辺シュタイナー学校	28	7月		○				1	
小計	28				1					
北海道	積丹小学校	16	1月					○	1	
小計	16							1		
合計		1,015			2	18	1	5	1	27

〈表—10〉

平成31年～令和元年に教育旅行で龍河洞を訪れた中学校の旅行目的等一覧									
発地区分	学校名	参加者 総数	実施時 期	学年	目的			学校数	
					修学 旅行	遠足	体験 学習		
県内	安田町立安田中学校	13	9月	1年			○		8
	鏡野中学校	34	5月			○			
	高知県立希望が丘学園	6	2月			○			
	佐川町立小川小学校・中学校	30	11月				○		
	中土佐町立大野見中学校	7	7月				○		
	津野町立葉山中学校	29	5月	1年			○		
	日高村佐川町学校組合立加茂中学校	57	4月					○	
	馬時村立馬路小・中学校	22	12月				○		
小計	198					5	3		
愛媛県	四国中央市立三島南中学校	75	10月		○				4
	新居浜市立中萩中学校	150	5月		○				
	大洲市立大洲東中学校	27	7月		○				
	大洲市立平野中学校	22	7月		○				
小計	274				4				
大阪府	大阪市立加美南中学校	48	5月		○				2
	大阪府立生野聴覚支援学校	14	5月		○				
	小計	62				2			
合計		534			6	5	3		14

〈表-11〉

平成31年～令和元年に教育旅行で龍河洞を訪れた高校の旅行目的等一覧										
発地区分	学校名	参加者 総数	実施時 期	目的					学校数	
				修学旅 行	遠足	下見	サ マース クール	クラブ 活動		体験学 習
県内	丸の内高等学校	155	6月		○					14
	高知県立春野高等学校	1	7月			○				
	高知県立中村高校	40	11月						○	
	高知県立東工業高等学校	16	10月		○					
	土佐塾中高等学校	3	6月					○		
	明德義塾高校	3	3月		0		0		○	
	明德義塾高校	10	10月		○		0		0	
	明德義塾高校	19	3月		0		0		○	
	明德義塾高校	22	9月		0		0		○	
	明德義塾高校	26	7月		0		○		0	
	明德義塾高校	60	11月		○		0		0	
	明德義塾高校	84	4月		○		0		0	
	明德義塾高校	234	4月		○		0		0	
明德義塾中、高等学校	25	6月						○		
小計	698			6	1	1	1	5		
香川県	香川誠陵高等学校	128	10月	○						1
小計	128			1						
広島県	呉市立呉高等学校	58	8月					○		1
小計	58						1			
奈良県	奈良県立添上高等学校	119	9月	○						1
小計	119			1						
京都府	京都府立盲学校高等部	2	8月			○				1
小計	2					1				
愛知県	愛知産業大学三河高等学校	39	8月					○		1
小計	39						1			
合計		1,044		2	6	2	1	3	5	19

〈表-12〉

平成31年～令和元年に教育旅行で龍河洞を訪れた大学の旅行目的等一覧										
発地区分	学校名	参加者 総数	実施時 期	目的					学校数	
				修学旅 行	遠足	下見	体験 学習	視察・ 研修 等		
県内	高知県立大学	2	3月			○				9
	高知県立大学	19	11月					○		
	高知県立大学後援会	49	4月		○					
	高知工科大学	4	11月				○			
	高知大学	3	11月					○		
	高知大学	5	9月					○		
	高知大学地域協働学部	5	5月					○		
	高知大学農学部	46	11月					○		
	国際デザインビューティカレッジ、学校法人龍馬学園日本語学科	6	3月		○					
小計	139			2	1	1	5			
香川県	香川大学	21	9月				○		2	
香川短期大学	30	12月				○				
小計	51					2				
広島県	広島大学地学研究所	6	7月	○					1	
小計	6			1						
兵庫県	関西学院大学	20	10月				○		2	
	神戸大学	18	10月				○			
	小計	38					2			
合計		234		1	2	1	5	5	14	

〈表-13〉

平成31年～令和元年に教育旅行で龍河洞を訪れた保育園・幼稚園の旅行目的など一覧					
発地区分	学校名	参加者 総数	実施時 期	目的	学校数
				遠足	
県内	鴨部わかば保育園	23	2月	○	3
	佐川町海津見保育園	30	3月	○	
	潮幼稚園	17	7月	○	
合計		70		3	3